

2017年3月30日

## 九州新幹線全通6年後の利用状況調査

株式会社 九州経済研究所

### 【調査結果の要点】

#### ●居住地、目的地

- ・ 本県居住者の利用割合は46.6%で、他県居住者の利用割合53.4%を下回り、前回調査(2016年3月)の46.6%と同じであった(図表1)。
- ・ 本県居住者の県内移動では、出水市(前回4.8%→今回4.9%)は前回調査をわずかに上回ったものの、薩摩川内市(同7.2%→5.6%)は前回調査を下回った(図表2)。

#### ●利用目的

- ・ 本県居住者の利用は「ビジネス」が33.0%と最も多く、次いで「観光・レジャー(17.3%)」「親戚・友人に会う(10.2%)」となった(図表3)。また、他県居住者の利用目的は「観光・レジャー」が37.5%と最も多く、「ビジネス(31.0%)」を上回った。

#### ●日帰り・宿泊状況

- ・ 他県居住者の「観光・レジャー」での有料宿泊の割合は65.6%と、前回調査の52.8%から上昇した(図表7)。一方で、日帰りは26.9%と前回調査の43.5%から大幅に減少した。日帰りよりも、有料宿泊し観光する傾向が増加していることがうかがえる。また、滞在期間中の消費額は総額で3万920円となり、前回調査の2万9,178円から増加した(図表8)。

#### ●県外観光客へのアンケート(新設部分)

- ・ 県外観光客に鹿児島を再訪したいか尋ねたところ、「ぜひ来たい(60.3%)」「機会があれば来たい(31.2%)」の合計が9割を超え、県外観光客のリピート希望がかなり高かった(図表15)。
- ・ 18年放送予定の大河ドラマ「西郷どん」については、県外観光客の50.5%が「知らなかった」と回答した一方、「来鹿前から知っている」は34.5%にとどまり、今後一層のPRが必要と思われる結果となった(図表16)。

株式会社 九州経済研究所

## 【調査概要】

- 調査目的 本調査は九州新幹線の利用状況を把握し、今後の観光振興などに生かしてもらうことを狙いに 2004 年部分開業の翌年から毎年 3 月に実施している。今回 3 月調査としては 13 回目であるが、来年の明治維新 150 年や大河ドラマ放映を控え九州新幹線の利用状況がどうなっているか調査し、県内企業の事業活動などに役立ててもらうことを目的とした。
- 調査実施日 2017 年 3 月 8 日（水）、10 日（金）、11 日（土）、12 日（日）の 4 日間  
9：00～10：30、14：00～15：30、18：30～20：00 の各時間帯
- 調査場所 鹿児島中央駅の新幹線改札内コンコース
- 調査対象 調査期間中の九州新幹線乗降客から無作為抽出
- 有効回答 1,965 件
- 調査方法 面接による直接聞き取り

## 【調査結果】

### 1. 居住地、目的地

- ・ 本県居住者の利用割合は 46.6%で、他県居住者の利用割合 53.4%を下回り、前回調査（16 年 3 月）の 46.6%と同じであった（図表 1）。
- ・ 本県居住者の目的地をみると、県外が約 7 割となっている。県外のうち、九州外の割合が 10.4%となっている（図表 2）。また、県内移動では出水市（前回 4.8%→今回 4.9%）は前回調査をわずかに上回ったものの、薩摩川内市（同 7.2%→5.6%）は前回調査を下回った。

### 2. 利用目的

- ・ 利用目的別にみると、調査対象全体では「ビジネス」が 31.9%と最も多く、次いで「観光・レジャー（28.1%）」となった（図表 3）。
- ・ 本県居住者の利用は「ビジネス」が 33.0%と最も多く、次いで「観光・レジャー（17.3%）」「親戚・友人に会う（10.2%）」となった。
- ・ 他県居住者の利用目的は「観光・レジャー」が 37.5%と最も多く、「ビジネス（31.0%）」を上回った。全通以降、他県居住者の「観光・レジャー」での利用割合は「ビジネス」を下回る傾向であったが、1 日に限り乗り降り自由の九州新幹線フリーきっぷの販売などにより今回調査で上回った。
- ・ 本県居住者の利用目的を移動別にみると、県内移動では「通勤・通学」が 23.3%と最も多い（図表 4）。次いで「ビジネス（18.8%）」「買い物（17.4%）」となっている。県外移動では「ビジネス」が 39.2%で最も多く、次いで「観光・レジャー（20.5%）」だった。

### 3. 利用頻度

- ・ 利用頻度をみると、調査対象全体と本県居住者、他県居住者のいずれも「定期的に利用」とした割合が前回調査より増加した（図表 5）。また、本県居住者の利用頻度を移動別にみると、県内移動においては「定期的に利用」が 37.4%と最も多く、「複数回利用」「ほぼ毎日利用」との合計が 9 割を超えるなど、日常の移動手段として定着している（図表 6）。

### 4. 他県居住者の日帰り・宿泊状況

- ・ 他県居住者の「観光・レジャー」での有料宿泊の割合は 65.6%と、前回調査の 52.8%から上昇した（図表 7）。一方で、日帰りは 26.9%と前回調査の 43.5%から大幅に減少した。日帰りよりも、有料宿泊し観光する傾向が増加していることがうかがえる。
- ・ 「ビジネス」での有料宿泊は 60.2%と、前回調査から 1.7<sup>ポイント</sup>増加した。ビジネスにおける有料宿泊のウエートが上昇した。

### 5. 他県居住者の本県における消費額

- ・ 他県居住者の本県における消費額は、合計で 3 万 920 円だった（図表 8）。利用目的別にみると、「ビジネス」は 2 万 3,834 円で、前回調査の 2 万 4,665 円より 831 円減少した。一方、「観光・レジャー」が 4 万 3,860 円で、前回調査の 3 万 7,186 円より 6,674 円増加しており、観光・レジャー客が全体の水準を押し上げている。

### 6. 鹿児島を訪れた回数

- ・ 他県居住者の来鹿回数は、「初めて」が 14.8%と前回調査の 15.3%から 0.5<sup>ポイント</sup>減少し、「5 回以上」は 62.5%と 1.6<sup>ポイント</sup>増加となった（図表 9）。
- ・ 利用目的別にみると、「観光・レジャー」では「初めて」が 30.3%と前回調査の 25.2%から 5.1<sup>ポイント</sup>増加する一方で、「ビジネス」では「初めて」が 3.2%と前回調査の 10.4%から 7.2<sup>ポイント</sup>減少した。

### 7. 県外観光客へのアンケート

- ・ 目的地は「鹿児島市（68.6%）」が最も多く、「指宿（25.5%）」「霧島（9.4%）」「知覧（5.7%）」「種子・屋久（3.0%）」と続いた（図表 10）。また、目的地を「鹿児島市」と回答した観光客の 5 割近くが桜島（48.1%）を訪れ、天文館（41.4%）と仙巖園（32.4%）が続いた（図表 11）。
- ・ 観光目的は「温泉」が 40.7%と最も多く、次いで「自然・景観（40.3%）」「名所・旧跡（27.0%）」となっている（図表 12）。
- ・ 情報収集手段は「インターネット（59.5%）」の利用割合が最も高く、「旅行代理店（12.6%）」「市販のガイドブック（10.9%）」が続いた（図表 13）。
- ・ 県外観光客の二次交通手段は「路線バス」の利用割合が 28.2%と最も多く、次いで「市

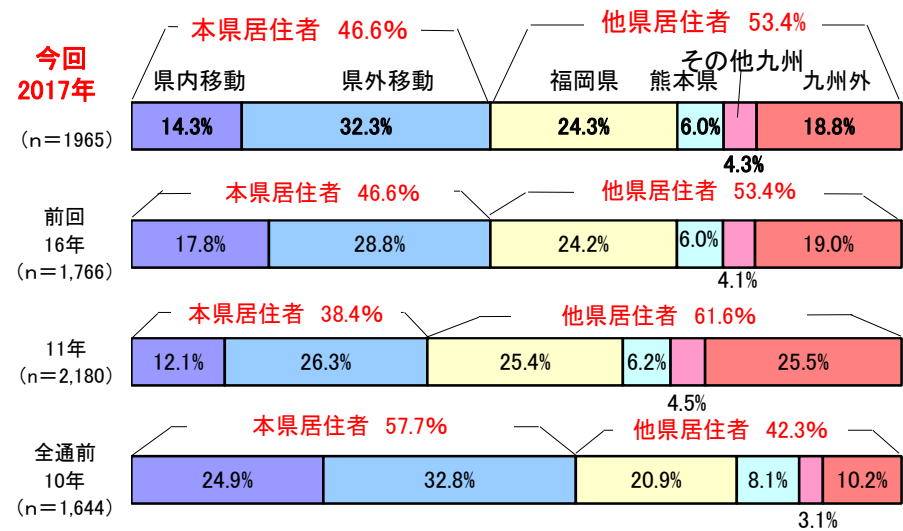
電（27.8%）」「レンタカー（26.6%）」の順となっている（図表 14）。

- ・ 県外観光客に鹿児島を再訪したいか尋ねたところ、「ぜひ来たい（60.3%）」「機会があれば来たい（31.2%）」の合計が 9 割を超え、県外観光客のリピート希望がかなり高かった（図表 15）。再訪したい理由としては、「おいしい食べ物が多かったので」、「行ったことがない所も訪問したいので」、「地元の方が親切で優しかったから」などの声が挙がった。
- ・ 18 年放送予定の大河ドラマ「西郷どん」については、県外観光客の 50.5%が「知らなかった」と回答した一方、「来鹿前から知っている」は 34.5%にとどまり、今後一層の PR が必要と思われる結果となった（図表 16）。このほか、「鹿児島に来てから知った」が 10.3%、「聞いたことはあるが忘れた」は 4.7%だった。

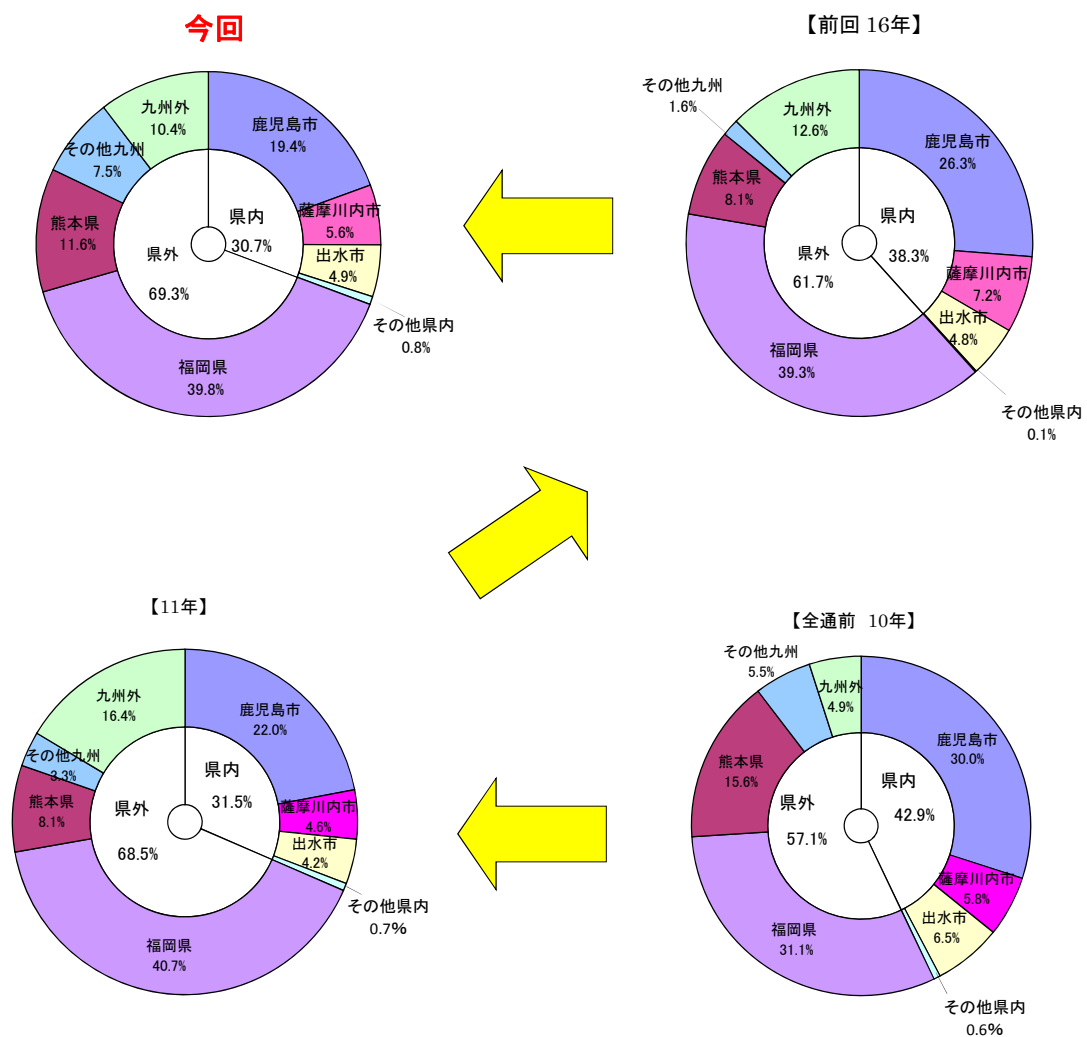
以上

【本件に関するお問い合わせ】 経済調査部（TEL 099-225-7491）

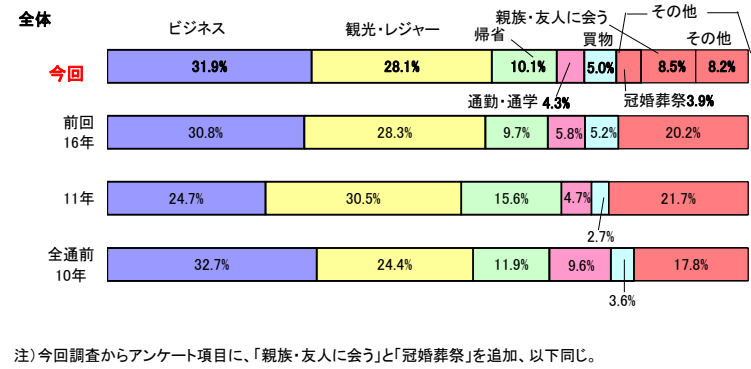
図表1 居住地別利用者割合



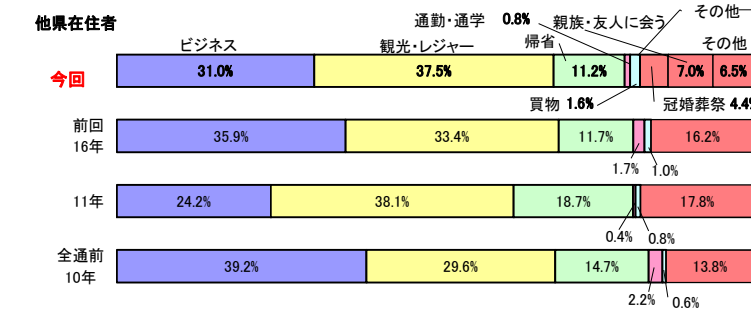
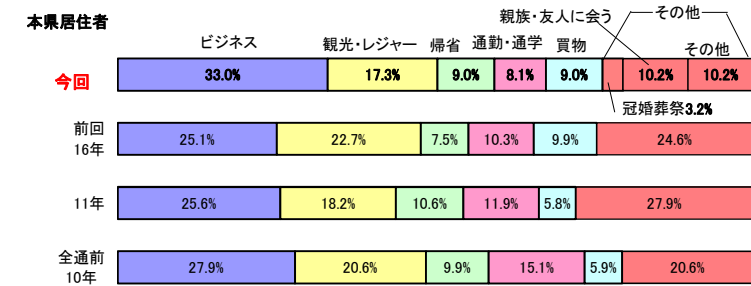
図表2 本県居住者の目的地



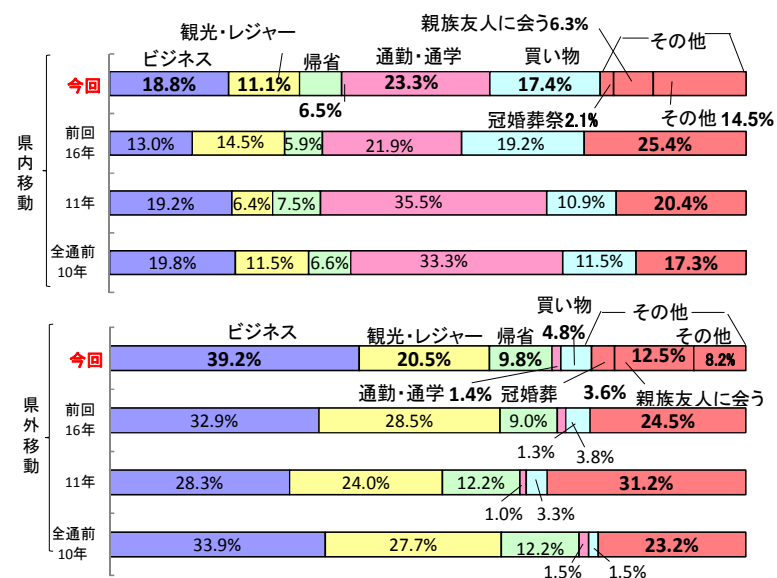
図表3 新幹線利用者の利用目的



注)今回調査からアンケート項目に、「親族・友人に会う」と「冠婚葬祭」を追加、以下同じ。

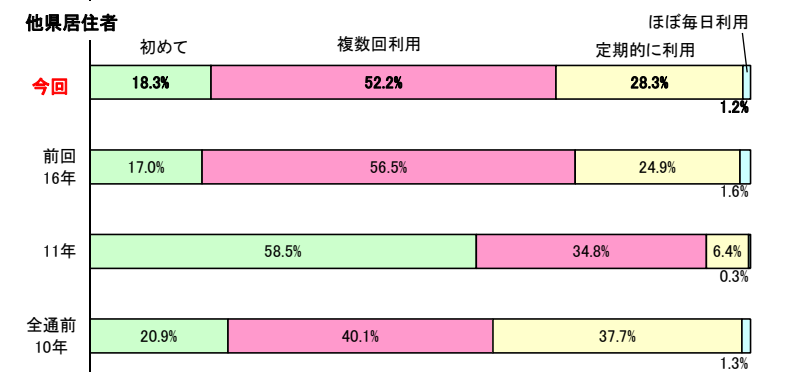
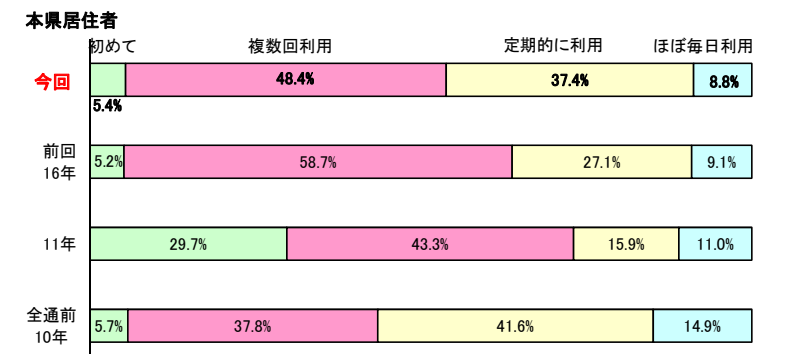
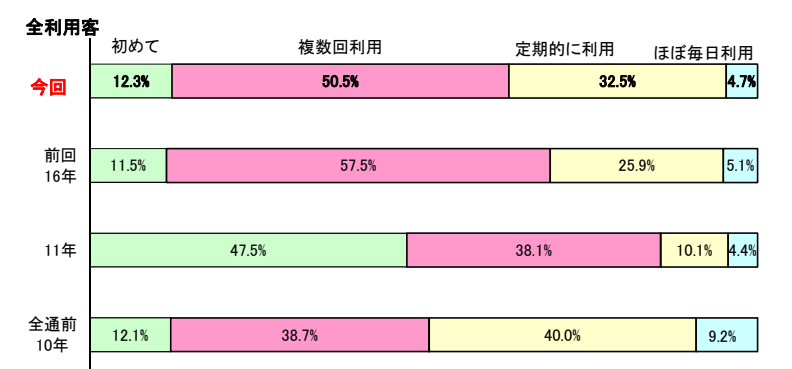


図表4 本県居住者の移動別利用目的

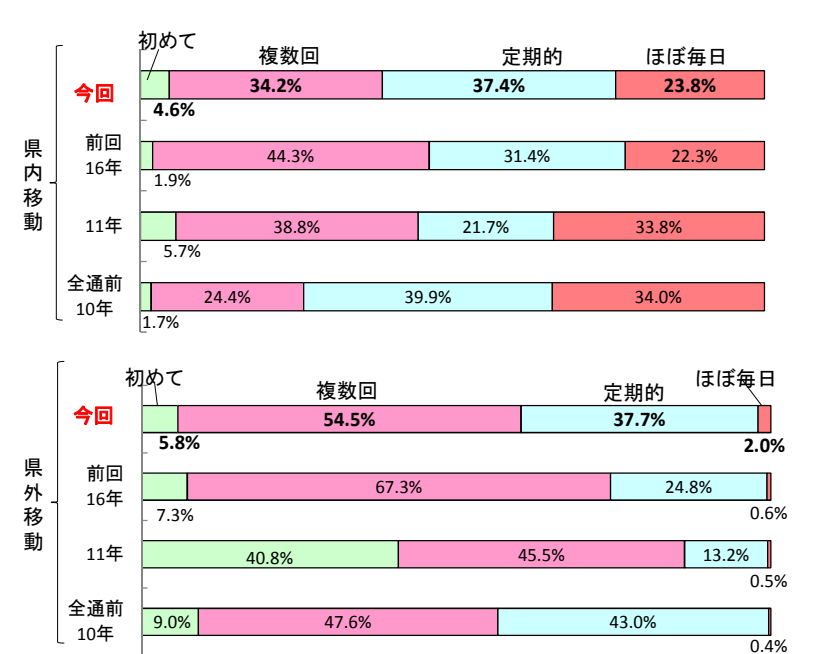


注)今回調査からアンケート項目に、「親族・友人に会う」と「冠婚葬祭」を追加。

図表5 新幹線利用者の利用頻度



図表6 本県居住者の移動別利用頻度



図表7 他県居住者の日帰り・宿泊状況(利用目的別)

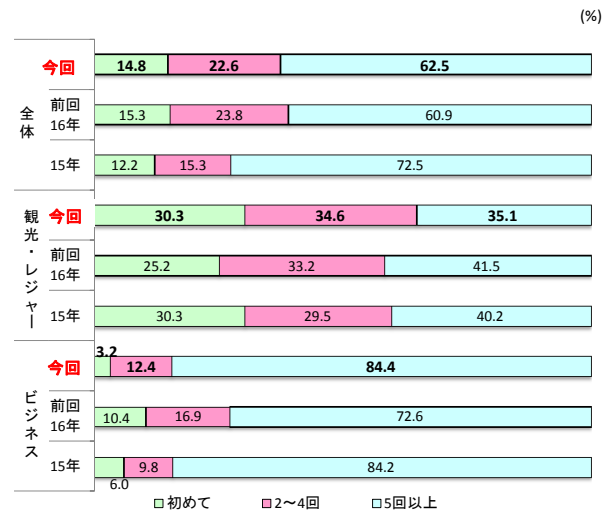
	有料宿泊				日帰り				その他(無料宿泊など)			
	全通前10年	11年	前回16年	今回	全通前10年	11年	前回16年	今回	全通前10年	11年	前回16年	今回
全体	52.5%	56.3%	49.6%	54.2%	26.6%	20.5%	35.0%	29.5%	20.9%	23.2%	15.3%	16.2%
観光・レジャー	70.9%	81.0%	52.8%	65.6%	25.2%	16.5%	43.5%	26.9%	3.9%	2.5%	3.8%	7.5%
ビジネス	67.3%	66.3%	58.5%	60.2%	29.8%	31.3%	34.5%	34.1%	2.9%	2.4%	6.9%	5.7%

図表8 他県居住者の本県における消費額(利用目的別)

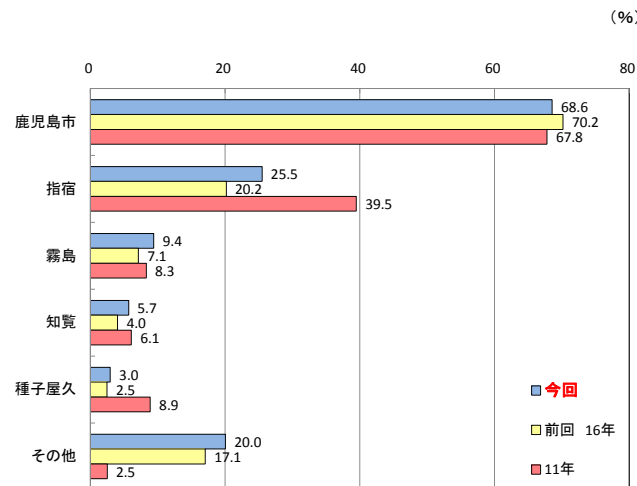
	宿泊費	お土産・買い物費	飲食費	交通費	合計消費額
全体	12,416 (10,206)	6,321 (6,375)	8,122 (6,838)	4,061 (5,759)	30,920 (29,178)
観光・レジャー	20,262 (13,649)	8,838 (10,442)	9,632 (6,845)	5,128 (6,250)	43,860 (37,186)
ビジネス	9,850 (8,418)	2,758 (2,625)	7,030 (7,486)	4,196 (6,136)	23,834 (24,665)

注1)下段の( )内の金額は16年3月調査時の金額。  
 注2)バック旅行の場合、バック料金に占める宿泊費を35%として試算。  
 注3)交通費は新幹線料金を除く。

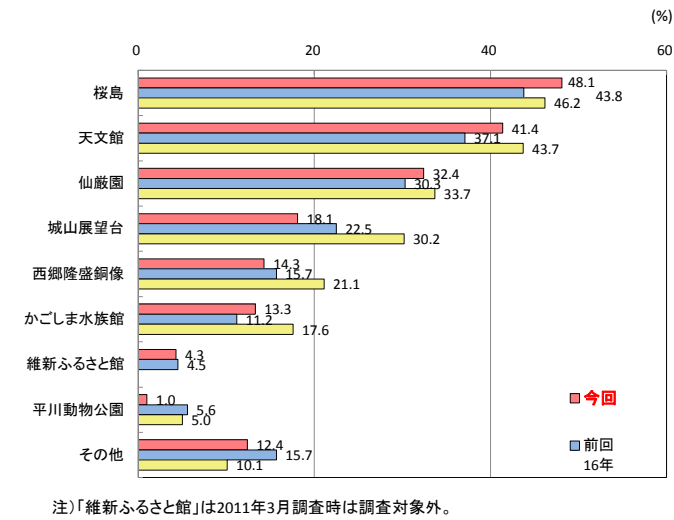
図表9 他県居住者の来県回数



図表10 県外観光客の目的地(複数回答)

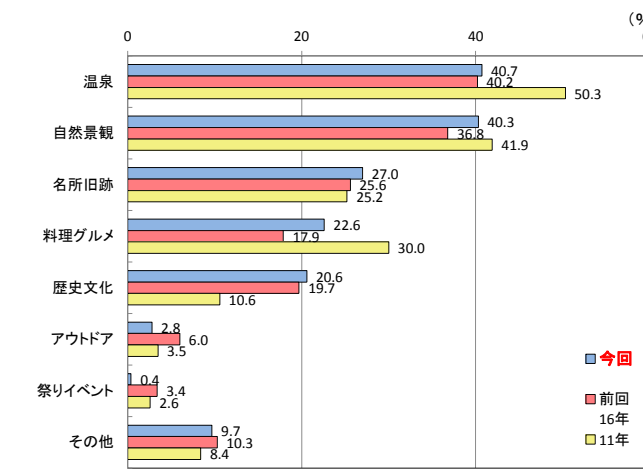


図表11 鹿児島市内を訪れた県外観光客の目的地(複数回答)

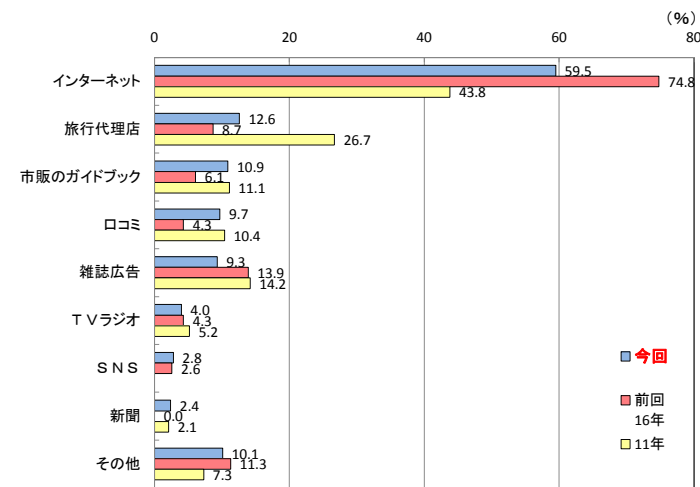


注)「維新ふるさと館」は2011年3月調査時は調査対象外。

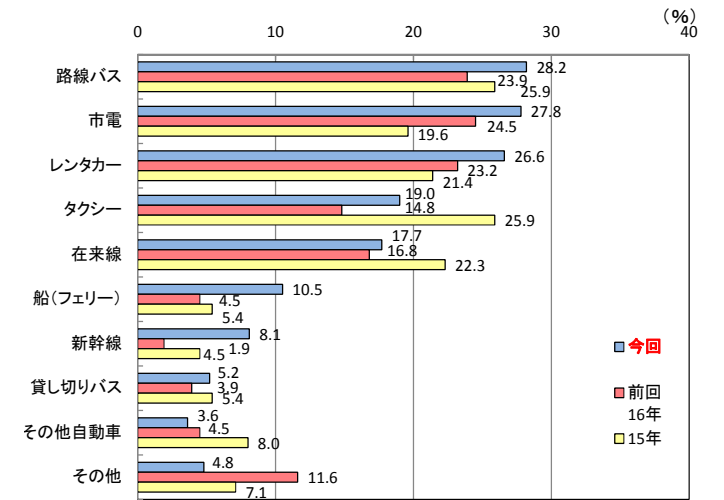
図表12 県外観光客の観光目的(複数回答)



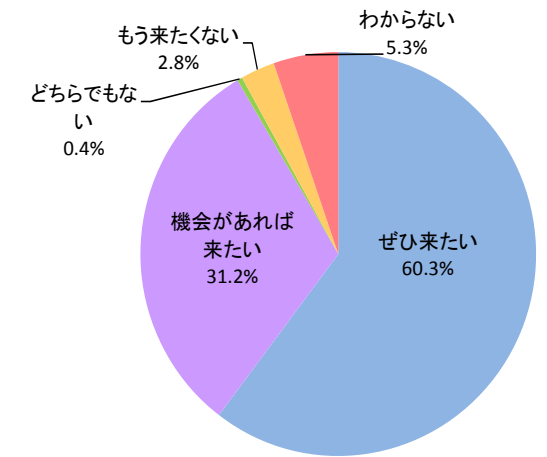
図表13 県外観光客の情報収集手段(複数回答)



図表14 県外観光客の二次交通手段(複数回答)

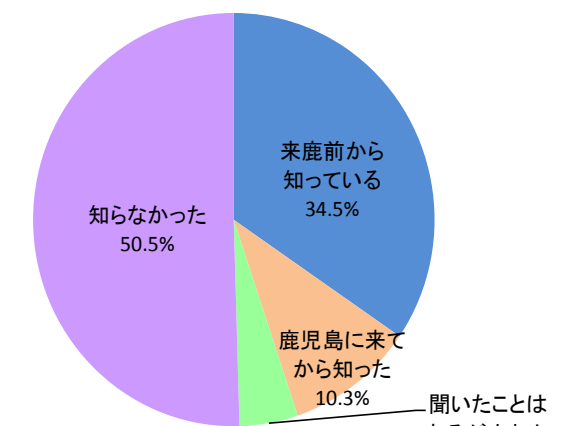


図表15 県外観光客の本県再訪希望



注)今回調査で初めて質問設定。

図表16 県外観光客の「西郷どん」認知



注)今回調査で初めて質問設定。